

中国大学の上場企業における独立取締役の学縁的特徴の研究

張愛民（華東理工大学）・汪志平（札幌大学）

中国大学の関連企業とは、広義的に大学及び大学支配の企業集団 (University and Affiliated Enterprise Group : UAEG)が資本参加している企業を指し、狭義的に UAEG が筆頭株主になっている上場企業を指す。

また、大学の派生企業(University Spin-off companies or University Spin-out companies : USOs)とは、当該大学の教員および学生が研究成果の産業化のために設立した企業である。

さらに、大学上場企業(Listed Companies of Colleges and Universities : LCCU)とは、中国大学の関連企業および派生企業の中に、上場を果たしている企業である。LCCUは大学の研究成果の産業化と中国産業界の自主的なイノベーション能力を高める重要なルートと形態になっている。

学縁は、教育と科学研究の過程において生じた師弟関係・同窓関係および学派の関係である。直観的に言えば、どの大学で学んできたのか、どの学派の教育を受けてきたのか、すなわち学歴の源である。また、学縁構造とは、ある教育単位（大学の学科、研究室、研究所など）の研究者が異なる大学で取得した学位の構成である。

中国では現在約 20 数社の狭義の LCCU、すなわち UAEG が筆頭株主になっている上場企業が存在している。本研究は、まず、中国大学の上場企業の概況を紹介する。

次に、これらの企業における独立取締役の学歴（学部、修士、博士）により、①本校学縁・校友、②異校学縁・校友、③非校友、の 3 グループに分けた上で、LCCU の財務パフォーマンスや株価の特徴と学縁の相関を調べ、中国大学の上場企業における独立取締役の役割と問題点を考察する。